

土壌汚染対策について

空気調査及び地下水質調査

- ・豊洲市場では、市場業務を行う地上部の安全を確認するため、定期的に空気調査及び地下水質調査を実施
- ・令和4年11月までに測定した空気調査及び地下水質調査の結果について、令和4年12月26日に専門家の評価を付して公表

1 調査の概要及び調査結果

(1) 空気調査

ア 調査の概要

建物1階（5か所）、屋外（4か所）、地下ピット（10か所）の19か所で、ベンゼン、シアン、水銀を毎月測定

イ 採取日

令和4年11月5日～6日

ウ 調査結果

調査物質	基準値等	単位	建物1階	屋外	地下ピット
ベンゼン	0.003 (1年平均値)	mg/m ³	0.0013 [※] ～0.0015 [※]	0.0013 [※]	0.0009 [※] ～0.0012 [※]
シアン	0.003	mg/m ³	不検出	不検出	不検出
水銀	0.04 (1年平均値)	μg/m ³	不検出	不検出	不検出～0.004 [※]

※令和3年12月～令和4年11月測定値の平均値。不検出の場合は定量下限値として算出。

(2) 地下水質調査

ア 調査の概要

調査物質の濃度が高い箇所を中心に選定した濃度確認用観測井戸（28か所）、街区全体のバランスを考慮し選定した全体確認用観測井戸（17か所）の45か所で、ベンゼン、シアン、ヒ素を3か月ごとに測定

イ 採取日

令和4年11月1日～9日

ウ 調査結果

調査物質	基準値	単位	濃度確認用観測井戸	全体確認用観測井戸
ベンゼン	0.01	mg/L	不検出～0.86	不検出～0.062
シアン	検出されないこと (定量下限値:0.1mg/L未満)	mg/L	不検出～1.1	不検出～0.5
ヒ素	0.01	mg/L	0.004～0.042	不検出～0.066

2 専門家の評価（12月26日公表時）

（1）空気調査結果について

都から示された同一日時的一般環境大気中濃度（大気常時監視測定局）との比較結果を新たに確認した結果、開場直後（平成30年11月）から令和3年3月までの一般環境大気中濃度（確定値）と豊洲市場における空気中のベンゼン濃度は、おおむね同じ動向を示していることが認められた。（別添1参照）

また、本年7～9月における、一般環境大気中濃度（暫定値）と豊洲市場における空気中のベンゼン濃度も、おおむね同じ動向を示していることが認められた。（別添2参照）

（2）地下水質調査結果について

令和4年8月の調査結果（9月27日公表）と比べ、濃度が上昇傾向を示した地点や低下傾向を示した地点も存在しているが、全体的に見れば、大きく汚染状況が変化した傾向は確認できない。

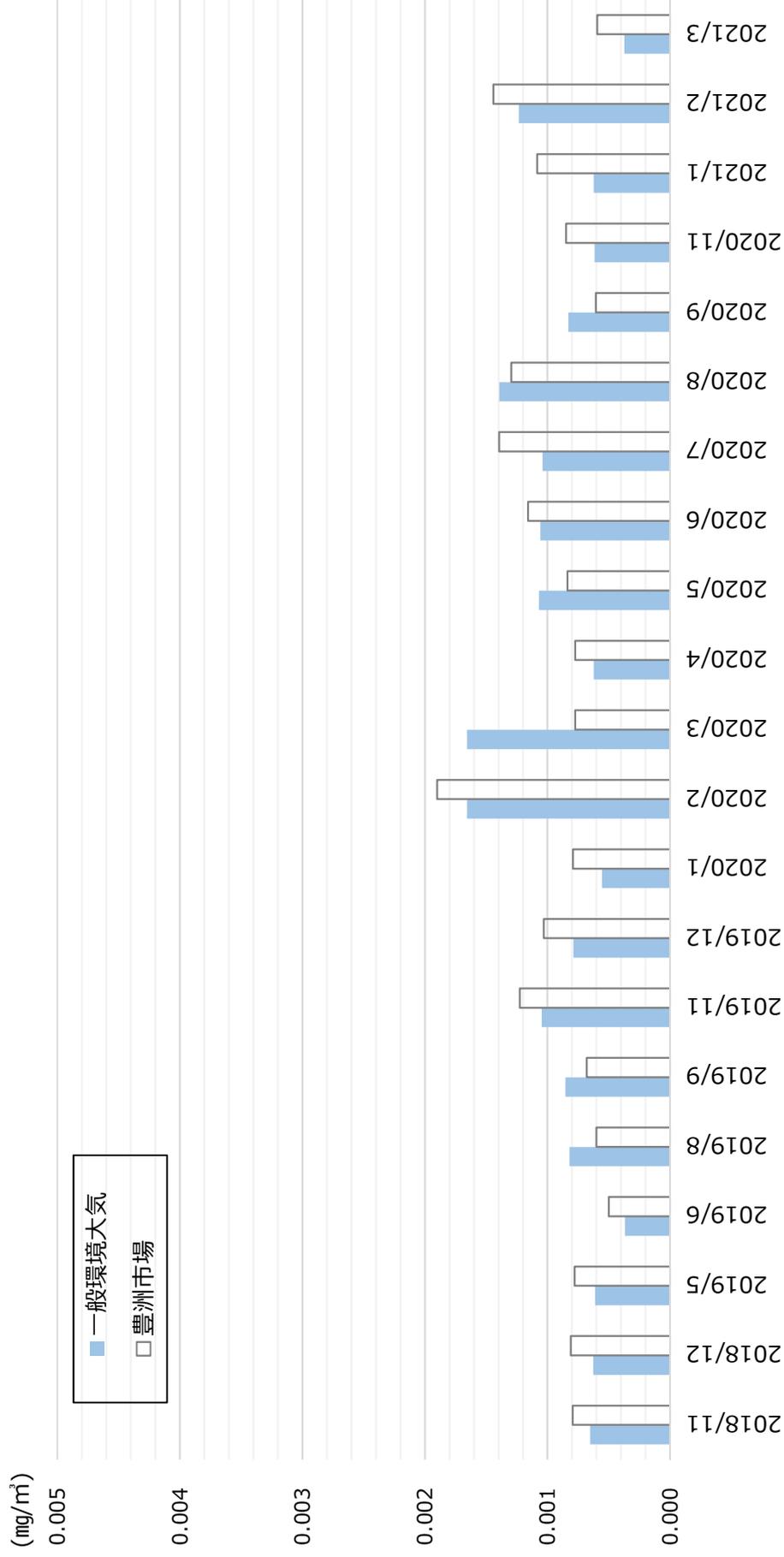
（3）空気・地下水質調査結果に基づく評価

- ・豊洲市場の地下水は、箇所により濃度が異なっている一方、空気中のベンゼン濃度は、建物1階、屋外、地下ピット内で同程度であり、地下水の濃度変動は空気測定結果に影響を与えていないものと考えられる。
- ・豊洲市場の空気は、継続して大気環境基準等に適合しており、科学的な視点から安全は確保された状態にあると考えられる。

3 今後の対応

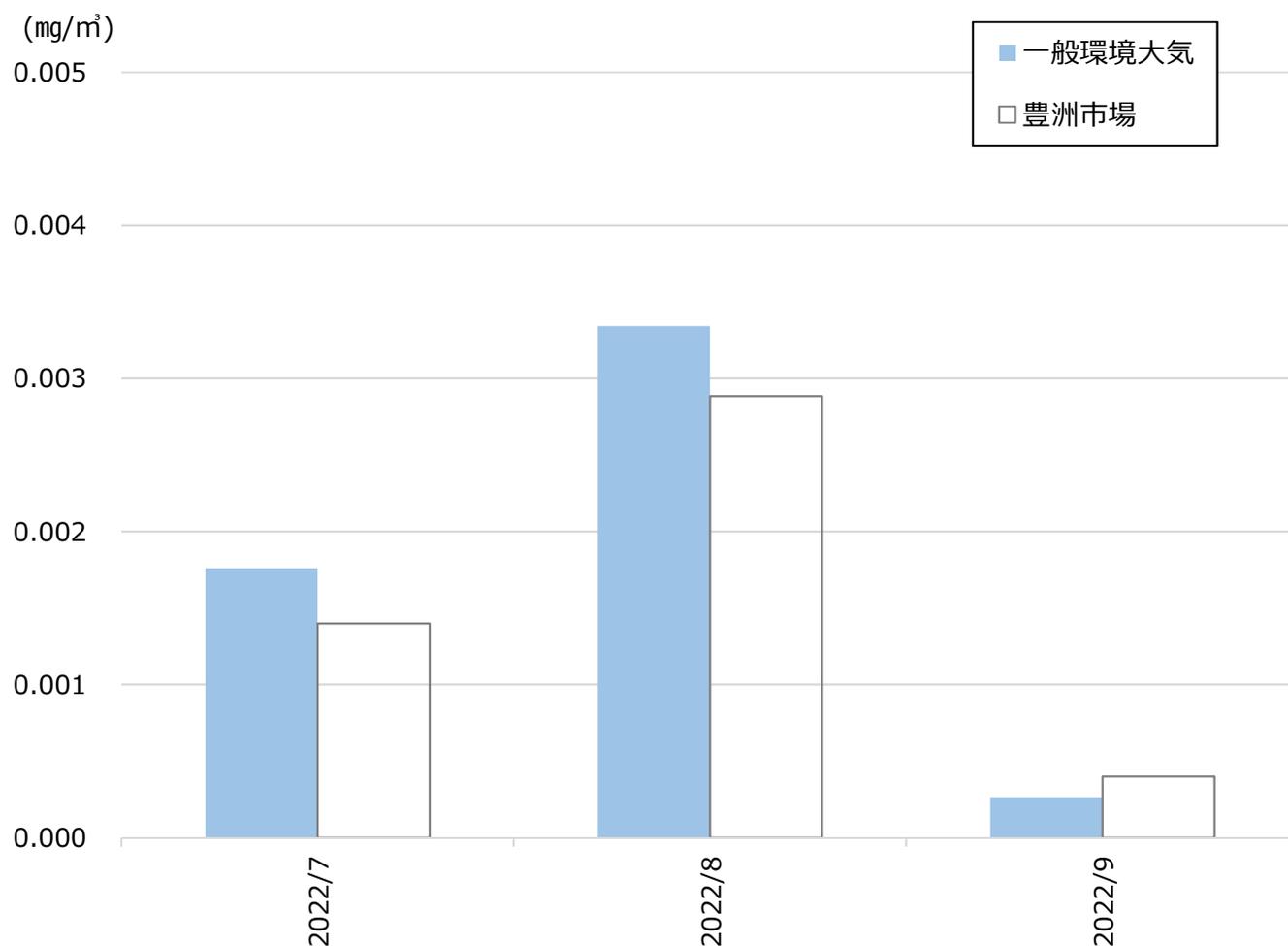
今後とも空気調査、地下水質調査によるモニタリングを継続するとともに、これまでの調査によって蓄積した数値をもとに分析を行い、正確な情報をわかりやすく公表していくことで、豊洲市場を安全・安心な市場として運営していきます。

豊洲市場の空気及び一般環境大気中のベンゼン濃度



- 注1) 一般環境大気については、大気常時監視測定局の測定データ（確定値）のうち豊洲市場の空気調査と同じ時間帯の値
- 注2) 豊洲市場については、建物1階、屋外、地下ピットの19か所の平均値であり、測定結果が不検出の場合、定量下限値（0.0003mg/m³）に置換
- 注3) 一般環境大気の測定値に欠測があった月については省略

豊洲市場の空気及び一般環境大気中のベンゼン濃度



注1) 一般環境大気については、大気常時監視測定局の測定データ（暫定値）のうち豊洲市場の空気調査と同じ時間帯の値。精査の結果、変更となることがある。

注2) 豊洲市場については、建物 1 階、屋外、地下ピットの19か所の平均値であり、測定結果が不検出の場合、定量下限値（0.0003mg/m³）に置換。

4 第12回「豊洲市場における地下水等管理に関する協議会」の開催について

(1) 開催概要

- ・日時 令和5年2月9日(木) 13:00～13:40
- ・場所 豊洲市場管理施設棟1階 講堂

(2) 報告事項

ア 空気・地下水質調査結果について

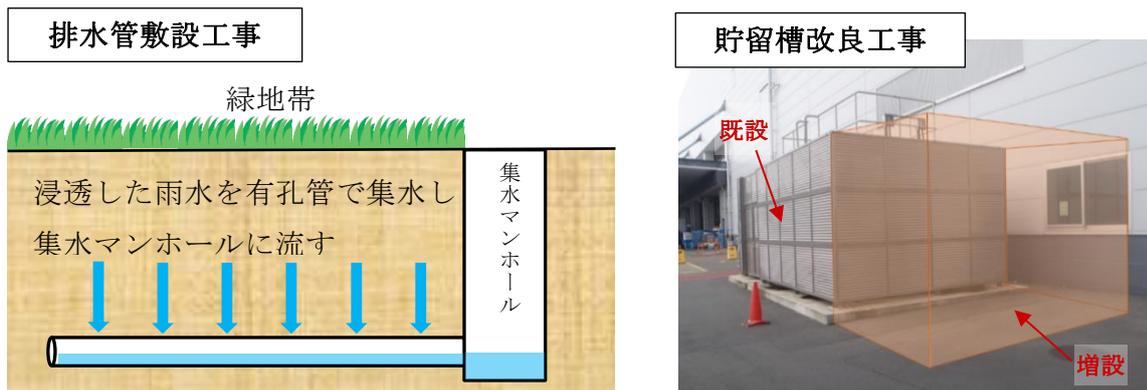
- ・過去1年間の調査結果を改めて報告
- ・専門家は、「地下水の濃度変動は空気測定結果に影響を与えていないものと考えられる」「豊洲市場の空气中ベンゼン濃度と都から示された同一日時の一般環境大気中濃度を比較した結果は、開場直後(平成30年11月)から、おおむね同じ動向を示していることが認められた」(別添3参照)「豊洲市場の空気は、継続して大気環境基準等に適合しており、科学的な視点から安全は確保された状態にあると考えられる」と評価

イ 地下水位の状況について

- ・過去1年間の水位データを改めて報告

ウ 工事の実施について

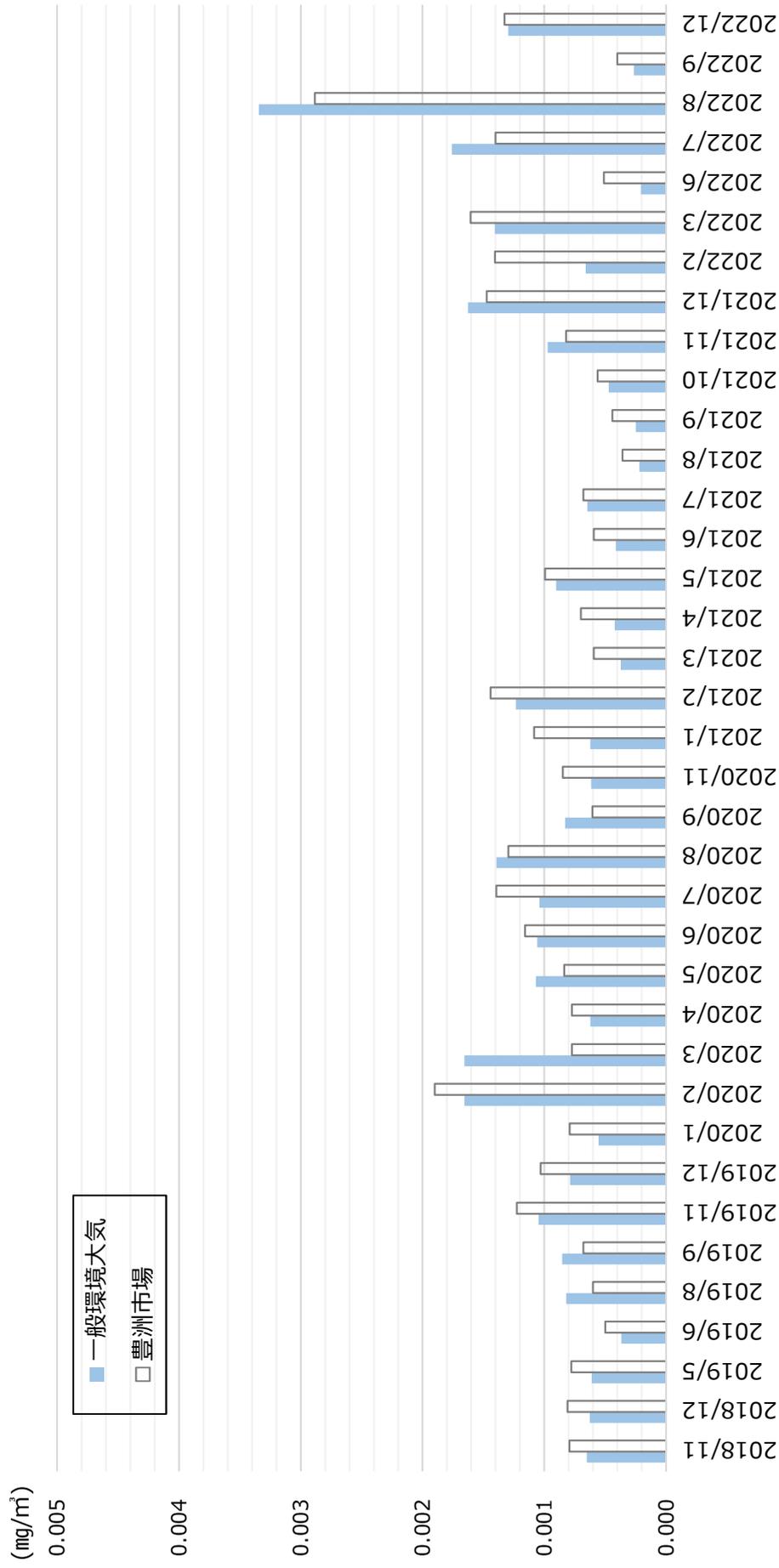
- ・地下水位上昇の抑制を目的とする、植栽帯等一時的に地下水位が高くなりやすい箇所を対象とした有孔管の整備について報告
- ・大雨時における地下水管理システム運用の効率化と安定化を目的とする貯留槽の増設について報告



エ 地下ピット内の施設の維持管理について

- ・専門家会議により確認された「東京都による今後の管理」(平成30年7月)に基づき実施している地下ピット内の施設の維持管理について、これまでの取組実績と今後の取組を報告
- ・地下ピット床面のコンクリート及び目地シール材について、前回の点検から3年が経過したことに伴う点検の実施、良好な状態が保持されていたこと及び補修工事の実施について報告

豊洲市場の空気及び一般環境大気中のベンゼン濃度



注1) 一般環境大気については、大気常時監視測定局測定データのうち豊洲市場と同じ時間帯で作成。2021年3月までは確定値、2021年4月以降は、暫定値であり、暫定値は精査の結果、変更となることがある。

注2) 豊洲市場については、建物1階、屋外、地下ピットの19カ所平均であり、測定結果が不検出の場合、定量下限値 (0.0003mg/m³) に置き換えて作成

注3) 一般環境大気の測定値に欠測があった月については省略